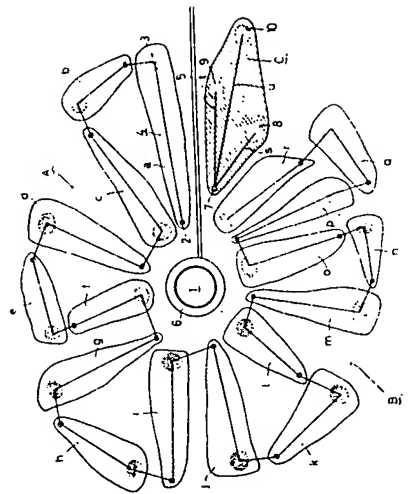


(54) GOLF COURSE WITH SPARE HOLE

- (11) Kokai No. 52-20141 (43) 2.15.1977 (21) Appl. No. 50-95747
(22) 8.8.1975
(71) HONDA GIKEN KOGYO K.K. (72) SHIGERU INAHO
(52) JPC; 120G551,89(1)A32,120G7
(51) Int. Cl². A63B67/02,A63B71/00,F04H3/14

PURPOSE: To provide golf courses having one spare set of holes which contains short, middle and long holes in addition to regular golf courses, thereby, when plays are interfered due to any delay time of other teams the interfered hole is detoured to continuously progress the plays which can be terminated by finally playing on the detoured hole with no delay time.

CONSTITUTION: No. 1, No. 2 and No. 3 holes a, b, and c are disposed in a triangular configuration of which an apex is adjacent to a club house 1. Six sets of 3 holes similarly disposed are arranged around the club house 1, and one spare set C of 3 holes having a common tee ground adjacent to the club house 1 is interposed between No. 1 hole a and No. 18 hole r. Each team of players commences their plays from either No. 1 hole a or No. 10 hole j. Usually, the plays are progressed on each hole in the order of the hole number, however, in the event where too much waiting time is necessary due to time delay of a preceeding team on the next hole, the plays of the waited team are continuously progressed by omitting the next hole and by playing on the hole preceeding the next hole, and when the waited team has played upto No. 18 hole r, the team can be finally played on the omitted hole so as to complete plays on all holes.





特 許 願 (3) 後記号ナシ

(4000円)



昭和50年8月8日

特許庁長官 齋藤英雄 殿

1. 発明の名称 スペアホール付ゴルフコース

2. 発明者

東京都練馬区中村南2-1-8

稲

穂

繁

3. 特許出願人

東京都渋谷区神宮前6丁目27番8号

(532) 本田技研工業株式会社

代表者 河島喜好

4. 代理人

郵便番号 105 50 095747

東京都港区西新橋1丁目9番2号 植松ビル

方式
審査



電話 (03) 580-6066 (代表)

(6735) 弁理士 下田 容一郎



外1名

明 細 書

1. 発明の名称

スペアホール付ゴルフコース

2. 特許請求の範囲

通常のゴルフコースにショート、ミドル及びロングの各ホールを1組として含むスペアホールを追加して設けたことを特徴とするゴルフコース。

3. 発明の詳細な説明

この発明はスペアホール付のゴルフコースに関するもので、特に通常のゴルフコースにショート、ミドル、ロングの各ホールを含んだスペアホールを別設して付加し、ゴルフプレイの進行に便ならしめたスペアホール付ゴルフコースに関する。

通常ゴルフのプレイにおいては、アウトコースの1番ホール或はインコースの10番ホールからスタートし、順番に従ってホールをまわりプレイを行つてゐるものであるが、プレイの進行中プレイヤー各人の技術レベルによつて進行

① 日本国特許庁

公開特許公報

① 特開昭 52-20141

④ 公開日 昭52.(1977) 2.15

② 特願昭 50-95747

② 出願日 昭50.(1975) 8.8

審査請求 未請求 (全4頁)

庁内整理番号

6641 25

6434 22

6223 25

⑤ 日本分類

120 G551

89(1)A32

120 G7

⑤ Int.Cl²

A63B 67/02

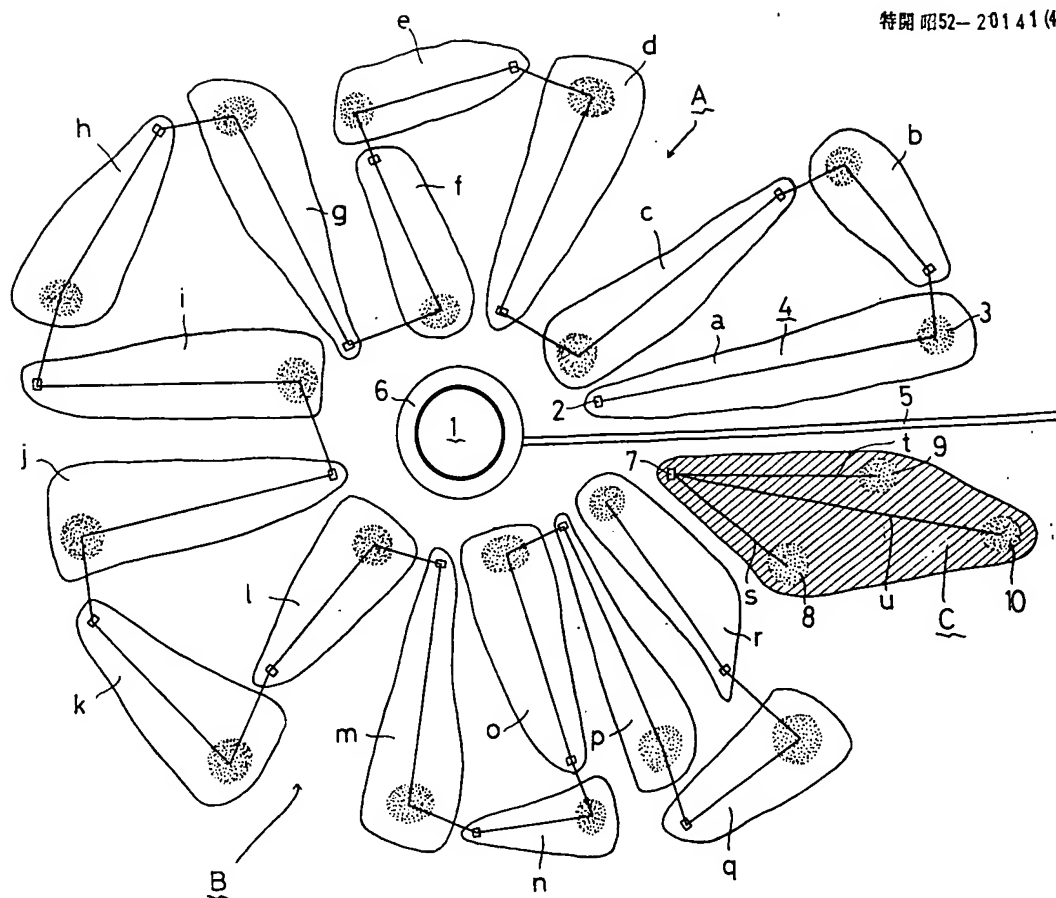
A63B 71/00

E04H 3/14

に遅滞を生じ、プレイの円滑な進行が妨げられ、プレイ途中で待ち時間が生じ、コースが混雑する場合がある。又これがため、他のプレイヤーのプレイのスタートが遅れたり、所定の時間内に全ホールをプレイすることができなかつたり、更にはプレイする人員が制約されたりし、ゴルフプレイ上不便である。

以上の他、通常の18ホールのコースでは、必要に応じて任意のホールを整備することはプレイの進行上不可能で、例えば1個のホールを整備した場合であつても全ホールを休ませ、コース自体を閉塞して整備を行わなければならない、ゴルフコースの保守、整備上も好ましくない。

この発明者は従来におけるゴルフコースの以上の如き問題点に鑑み、これを解決すべくこの発明をなすにいたつたもので、その目的とする処は、通常のゴルフコースにショート、ミドル及びロングの各ホールを含む1組のホールを別設して付加し、プレイ進行上遅滞したり、進行が妨げられたりした場合、この遅滞等したホールを迂回してプ



5. 添付書類の目録

| | |
|-------------|-----|
| (1) 明 細 書 | 1 通 |
| (2) 図 面 | 1 通 |
| (3) 願 書 副 本 | 1 通 |
| (4) 委 任 状 | 1 通 |

6. 前記以外の代理人

東京都港区西新橋1丁目9番2号 植松ビル

(6802) 弁理士 絹 谷 信 雄



レイを進行させ、最後に前記組のホールで省略したホールの種類に従つてショート、ミドル或はロングのホールを選択してプレイし、プレイを完了することができるようにし、プレイの進行を円滑化し、従来プレイ中に生じた待ち時間を無くし、プレイ全体の進行時間を短縮化して多数の人員が円滑にプレイを行い得るようにするとともに、ゴルフコースの整備上も任意のホールを整備してこのホールを別設したスベアホールで代替し、ゴルフコースの保守、整備上も好都合であるスベアホール付ゴルフコースを提供する。

以下にこの発明の好適一実施例を添付図面に従つて詳述する。

第1図はこの発明にかかるゴルフコースの説明的平面図で、図示例ではホールをクラブハウスを基点として放射状に設けた実施例に適用した実施例を示している。

クラブハウス1を基点としてティグランド2とグリーン3、この間に設けられたラフ、バンカーやウォーター・ハザード等のハザード、フェアウ

- 3 -

ェイ等よりなるホール4…をアウトコースAで6個、又インコースBで6個計12個放射状に配設する。1番ホールaはクラブハウス1側をティグランド2とし、外側をグリーン4とし、この間には前記の如くラフ、フェアウェイ等で連結している。この1番ホールaと同方向へ対向し隣接して設けられた3番ホールcは、外側をティグランド2とし、クラブハウス1側をグリーン3とし、この1番ホールaと3番ホールcの外側間を2番ホールbで連結し、2番ホールbは1番ホールaのプレイの順序に従つて1番ホールaのグリーン3に隣接する部分をティグランド2とし、3番ホールcのティグランド2に隣接する部分をグリーン3とする。

以上のように1番乃至3番ホールa, b, cをクラブハウス1を基点としてこれを頂点とする略逆三角形状に配設し、クラブハウス1を囲むように同様に逆三角形状に3ホール1組の組のホールを同様に配設し、4番乃至6番ホールd, e, f、7番乃至9番ホールg, h, i, 10番乃至12番ホールj, k, l, 13番乃至15番ホールm, n, o, 16番乃至18番ホールp, q, rと夫々組み合わせ、3ホール1組のホールを6組クラブハウス1を囲んで放射状に配設し、1番〜9番ホールのアウトコースA、10番乃至18番ホールのインコースBを設け、図中5はクラブハウス1への出入通路、又6はクラブハウス1周に設けられたパーキングエリアである。

以上のコースは、1番ホールaのクラブハウス1側のティグランド2からスタートして3番ホールcのグリーン3で3ホール1組の組のホールのプレイを終了し、次の組のホールへプレイを進行する。このためこのコースは3ホール1組の組のホールが夫々独立し、プレイに要する時間を略等しいとすれば、最大6組のプレイヤー群が同時にスタートし、独立して干渉されることなくプレイすることができ、スタートの待ち時間の短縮、プレイ人員の倍増を計ることができ、又3ホール毎にクラブハウスに復帰するためクラブハウスに近く、プレイヤーの不測の事故、雷などの緊急事態等にさいしクラブハウスが近くて便利であり、プ

- 5 -

レイヤーへの連絡にも便利で、更に又クラブハウスに近いため休憩も随時行え、クラブハウス以外の売店や休憩所も不要となり、省力化上好ましい他、土地利用上も狭いスペースで有様なゴルフ場を造成することができる。

以上の1番ホールa乃至18番ホールrを備えるコースにスベアホールCを別設して付加する。

即ちこのホールは最終ホールである18番ホールrに隣接して前記クラブハウス1を基点として設けられる。

スベアホールCはショートホールs、ミドルホールt及びロングホールuを組として備え、図示例ではティグランド7を共通とし、このティグランド7を基点として放射状にショート、ミドル及びロングの距離に応じた位置に3個のグリーン8, 9及び10を備え、このティグランド7と夫々のグリーン8, 9及び10間にはラフ、ハザード、フェアウェイが夫々設けられ、3ホール1組のショートホールs、ミドルホールt及びロングホールuを備える。

- 266 -

- 6 -

このスベアホールCは、以上のように距離の異なる3ホールs, t及びuを備え、各ホールはティグラウンド7を共用し、これによつてスベアホールCのスペースを小としたが、各ホールのティグラウンドを接近させて別設しても良い。

以上の図示例では、ゴルフコースの18番ホールrとクラブハウス1の出入通路6との間にクラブハウス1側をティグラウンドとして、スベアホールCを設けた。

次に以上のスベアホールCを備えるゴルフコースにおけるプレイを説明すると、プレイヤー群は1番ホールa、或は10番ホールjからスタートしプレイを行う。図示例では前記したように独立した各3ホール1組のホール毎に同時にスタートし、最大6組近相互に干渉されことなくプレイすることができる。プレイの進行に従つて各ホールを順番に従つてプレイしていくが、先発の組が先のホールで遅滞し、このため待ち時間が長くなり、仲々次のホールへ進行することができない場合は、先の先のホール、即ち2個先のホールが空

- 7 -

が、ホールが整備その他で休止状態にあつても、これを省略し、スベアホールで調整することができることは勿論である。

以上の如きこの発明によれば、プレイ中に先のホールが混雑したり、遅滞していたりして後発のプレイヤーが待ち時間が長くなつたりした場合、この混雑、遅滞しているホールを省略してこれを迂回して先のホールに進んでプレイし、最終ホールのプレイ後、前記省略したホールに代わるこれと同種のホールをスベアホールで選択してプレイし、トータルとして調整し、プレイを完了することができるため、プレイ上便利で、特に技術に依じた時間、速さでプレイを進めることができ、プレイ時間の短縮、コースの混雑の回避、スタート待ち時間の短縮を促進し、又これによりコース上におけるプレイ人員の有効的な増加も計れ、ゴルフプレイ上益する処頗る大である。

又この発明によれば、スベアホールを最終ホールに隣接して設けた場合、途中でホールを省略しても再度このホールへ復帰し、プレイする必要が

いていれば、この遅滞している1個先のホールを迂回してこれをとばして2個先のホールに進み、このホールでプレイを続行する。このホールのプレイを1回省略した組が18番目のホールrに進し、このホールrでのプレイを終了した後、これに隣接するスベアホールCで省略したホールのプレイを行う。

このスベアホールCのプレイは、省略したホールの種類に合せ、即ちショート、ミドル及びロングの各ホールs, t, uの夫々を選択して省略したホールに対応するホールでプレイする。

これにより当該プレイヤーは規定通りに18ホールの全てをプレイしたこととなり、プレイを完了する。

以上の説明ではホールを一回省略した例で説明したが、スベアホールCはショート、ミドル、ロングの3ホールを備えるため、通常のホールにおけるプレイで最大三回省略し、スベアホールCで調整することができる。又以上の説明ではホールが混んだり、或は遅滞した場合について説明した

- 8 -

なく、最終ホールから隣接するスベアホールへ移動すれば良く、省略したにもかかわらずプレイの距離も短かくしてプレイを完了することができるとともに、ショート、ミドル及びロングの各ホールを有するスベアホールを備えるため、コース中のホールが休止状態にあつてもプレイを有効に継続することができ、従つてホールの整備、点検等で随時、任意にホールを休止させることができ、ゴルフコース保守上も好都合である等の諸特長を発揮する。

4. 図面の簡単な説明

図面はこの発明の一実施例を示す説明的平面図である。

尚図面中a～rは通常のホール、Aはアウトコース、Bはインコース、Cはスベアホール、sはショートホール、tはミドルホール、uはロングホールである。

| | |
|--------|------------|
| 特許出願人 | 本田技研工業株式会社 |
| 代理人弁理士 | 下田 容一郎 |
| 同 | 絹谷 信雄 |